

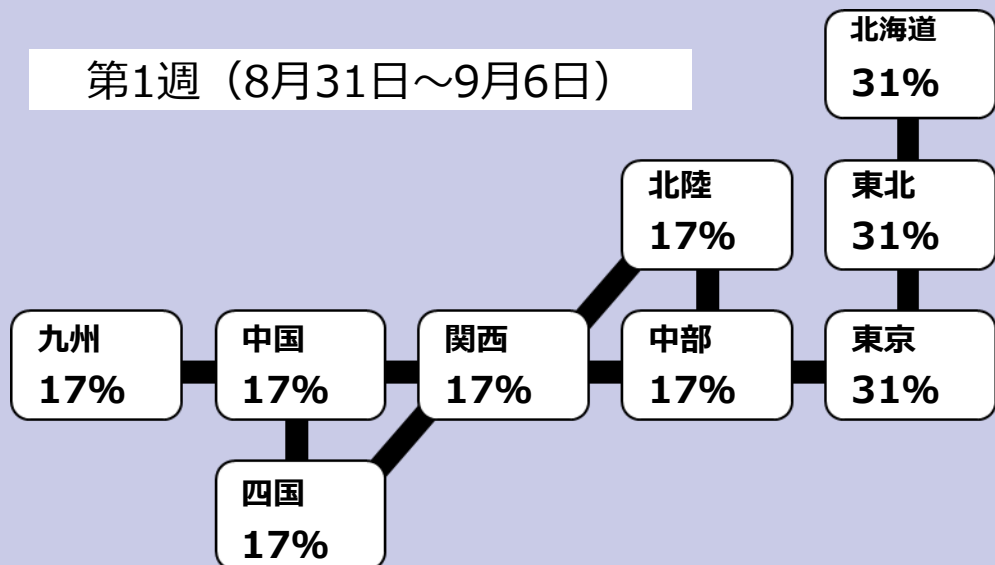
■ kWh余力率は、各ブロックとも**第1週は17%以上、第2週は23%以上**を確保できる見通し

※余力率が10%以上の時は小数点以下を切り捨てて表記しており、同一余力率でもブロック分けが異なる場合がある。

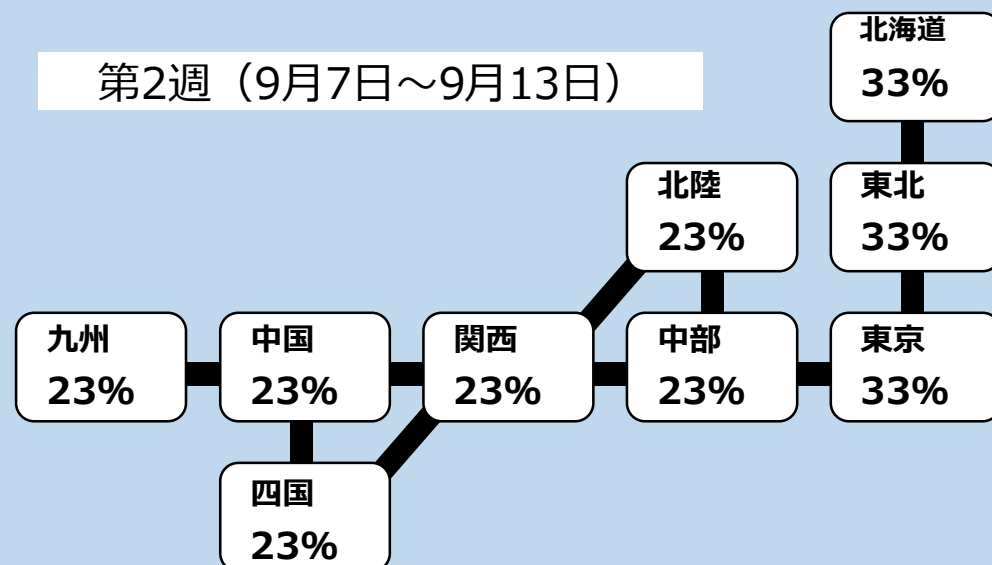
■ ただし、台風10号の影響による燃料の入船遅延や発電機トラブル等により、余力が減少する可能性があり、今後の需給の変化に注視が必要

※例えば、大規模なベースロード電源（100万kW）が停止すると、kWh余力率を約1%押し下げることになる。

第1週（8月31日～9月6日）



第2週（9月7日～9月13日）



・ kWh余力率は連系線の空容量の範囲で、極力同一の余力率となる電力融通の実施を想定したものであり、空容量が十分にあれば、同一のkWh余力率となる。